

2023年度第2回日本学連幹事会議事録

【日程】 2023年9月17日（日） 21:30～24:00

【開催場所】 おやど 和田宿での現地開催
オンライン参加も可とし、Zoomを併用した

【議事録作成者】 鎌倉京平(筑波大学)、西澤汰知(東北大学)、島田智也(名古屋大学)

【目次】

1. WUCO 補助金増額について	3
2. 日本学連後援申請締め切り見直しについて	4
3. テレイン利用申請担当部局変更について	5
4. 賛助会員業務の割り振りについて	5
5. 地区学連セレクション推薦制度について	6
6. 渉外部員追加募集について	8
7. 部局報告	8
8. その他	9

出席者（敬称略）

氏名	役職	学校名
山川 克則	副会長	東京大学卒
市川 竣介	幹事長	筑波大学
大石 遥	副幹事長	新潟大学
遠藤 陽太	会計局長	東京大学
桑原 唯歩	会計監査	横浜国立大学
岩崎 壮馬	会計監査	大阪大学
森 創之介	事業部長	横浜国立大学
鎌倉 京平	広報部長	筑波大学
島田 智也	広報部員	名古屋大学
西澤 汰知	広報部員	東北大学
徳力 雅哉	事務局長	立命館大学
川瀬 智尋	事務局員	奈良女子大学
宮川 葵衣	普及部長	東京理科大学
坂本 拓登	普及部員	北海道大学
鷺津 加子	渉外部長	東北大学
澤橋 さくら	渉外部員	京都女子大学
柴崎 愛有	技術委員会	新潟大学
千葉 望央	北東学連幹事長	宮城学院女子大学
加藤 聡一郎	北信越学連幹事長	金沢大学
市川 優人	関東学連幹事長	早稲田大学
舘 直輝	東海学連幹事長	名古屋大学
吉岡 春樹	関西学連幹事長	京都大学
一戸 厚志	中九四学連幹事長	広島大学

また、参考人として以下の方が参加した。

氏名	所属	目的
松本 萌恵	WUCO2022日本代表	WUCO補助金増額についての説明

(注)議論の本筋と関係のない会話は適宜削除している。

1. WUCO補助金増額について

松本：2022年度第4回幹事会にて要望書を提出し、議論が行われた結果、増額方針が決定した。具体的な増額金額、代表選手による日学加盟員への活動・技術共有について、選手側からの提案として今回議題とした。

2月に決定する予算案に組み込みたいため、今回の議題としている。今回の幹事会で決定まで行う必要はないが、今後話し合っていたきたい。

選手一人当たり30万円ほどの支出があるが、通常の補助金では一人当たり1万程度の補助金のみで少ないと感じるのが選手側の意見である。

選手側の提案（要望）としては、具体的な金額としてWUCO 出場のために全選手が必要となる FISU 登録料、参加費（オフィシャル、選手両方）を基に計60万円を希望している。

選手側からのリターンについては、報告書の発行、日学合宿のコーチの積極的な受諾、オンライン報告会の実施を提案する。

大石：日学合宿のコーチの積極的な受諾とあるが、日学合宿は毎年開催されていたのか。

松本：1年に3回程度あるのが普通である。

遠藤：ローン0（旧インストラクタ講習会）でも協力していただける認識で合っているか。

松本：具体的な内容などが決定し次第依頼していただければ、共有・検討する。

市川（竣）：日学主催のイベントに協力いただけるということでよいか。

松本：その認識で正しい。

市川（竣）：コロナ関連の補助金はどこから捻出した金額なのか。

遠藤：日本学連の予備費から出ていると考えられるが、正確な出どころは分からない。JOAからお金を貰ったというようなことではないと考えられる。

市川（竣）：去年の決算が出なければ、話が進められないと考える。

松本：以前は50~60万出ていたらしいが、現在予算の関係で要検討というような話を以前の幹事会で聞いた覚えがある。

市川（竣）：具体的な金額について話し合うためには決算書が必要なため、山川さんに決算を提出していただき、次回幹事会までに決算書を作成する。

遠藤：個人的な意見としては、物価の変動等に応じて年々この議題が提出されることは避けたいので、今回の決定で数年間は続けられるようにしたい。

山川：地図の売り上げが好調のため、可能と思われる。

市川（竣）：補助金増額の話について、増額する30万円を捻出する必要があるため、今後詳細を詰めていく。

遠藤：代表選手による日学加盟員への活動・技術共有については、今後の日学のイベントに協力するといったような大まかな決め方でいいのでは。

2. 日本学連後援申請締め切り見直しについて

徳力：昨年度、大会6ヶ月前までに渉外など後援申請に必要な事項を完全に満たす大会がほとんどなかった。すなわち、6ヶ月前に日本学連に後援申請を依頼するのは困難である。そこで、締め切りを6ヶ月から3ヶ月に変更することを検討している。書類を受け取ってから幹事会の承認まで2週間かかるが、ここで不備があった場合に訂正や再承認などに数週間かかると仮定しても、1~2ヶ月で十分であると考えている。例えば関西学連後援申請の締め切りは3ヶ月なので、それに倣って「3ヶ月」が適切と考える。総会で議論し、半数以上の承認を得られたら規約改定し、施行は決定後すぐになされ、周知される予定である。

遠藤：後援申請が6か月前である理由は何か。

徳力：理事の方に今後確認する。

山川：紙だけの頃と状況は全く変わっているので時宜に合わせるのが良いかと思う。
以前は幹事会の回数も対面だけで限られていたという背景もある。

市川（竣）：大会を開催するにあたって、この時期には概要が決定されているべきだという
意図であると考えていた。

徳力：次の総会の承認後、規約改定する。

3. テレイン利用申請担当部局変更について

徳力：日学テレイン利用申請について、現在は事務局に届いたメールを渉外部と山川さんに
送るようにしているが、二度手間であったりミスが生じたりするため、直接渉外部に
メールを送るようにしたい。
今後は日本学連HPに渉外部の連絡先を書き、そこに日学テレイン利用申請のメール
が届くようにしたい。

市川（竣）：事務局がメールを受け取っていた理由は何か。

松本：日本学連が把握するべきであり、事務局が窓口だからという理由と考えている。
渉外部にメールが届くようにして問題はないと考える。

山川：どちらでも問題ない。同報で良いかと。ただし、私に個人的に送ってきて事務局や渉
外部が知らないというのは困る。眼前のタスクで後回しにされがちな案件であるた
め、複数者によるチェックは必要である。

4. 賛助会員業務の割り振りについて

市川（竣）：賛助会員業務は部局への業務割り振りができていない。そのため、業務を明確
にするため、割り振りを決定した。
現在考えている案としては各部局から人員を出してもらい、賛助会員担当と
する。

普及部：指示役・庶務（配布地図（特典のインカレマップ）送付）

広報部：HP更新・いぶき作成

事務局：JOY窓口

インカレ実行委員会：配布地図印刷

会計：配当金の送付

鎌倉：いぶきが日本学連HPですべて閲覧できるので、特典になっていないのではないかという意見がある。昔はHPに掲載した上で、賛助会員に紙でも送っていたようなので、地図と一緒に送付できないかということを検討している。

市川（竣）：JOYで賛助会員の個人情報管理し、地図送付に利用するということを明記した方が良くと理事の方と話しており、文章を普及部に考えてもらいたい。賛助会員の募集、インカレ、配当金の送付の時期に仕事があるので、普及部はこれらの時期に仕事の指示等をお願いしたい。

遠藤：会計の技術的問題で、集計が終わるのが2024度末以降になるため、2023年にももらったお金は2024年に配当されるが、どちらの年度の決算に含まれるのか。

市川（竣）：前年度に組み込まれると思うが確認してほしい。

遠藤：年度末に会計に組み込まれると記載があったので前年度になる。

遠藤：賛助会員登録時期の間に開催された日本学連後援の大会の全ポ図配布が行われていない。今年の日本学連賛助会員登録は4/30開始だが、それまでは特典を受け取ることができない。

徳力：努力義務として4月頭に始めるべき。事務局の3月末の仕事としてやる方向になるか。

5. 地区学連セレクション推薦制度について

千葉：昨年、今年と北東学連でセレ不成立が相次いでおり、この場合の対応とセレ通過者を決めることに毎回手間取っている。

どの大学も自学の選手をセレ通過にしたいと考えて意見を出すため、会議が平行線となってしまい、決めるまでに時間を要している。また、セレ通過者を早期に確定できないため選手にも負担となっている。

そこで、第三者の目から見た意見をもらう方が公平だと考え、必要に応じて他の学連に話し合いを依頼し意見をもらう、代わりに他の学連で発生した問題には依頼があ

ればこちらから意見を出すというシステムを作れないか。

柴崎：不成立時の対応はセレ前に話し合っていたのか。

千葉：セレが中止になったときの対応は決めていたが、不成立になったときの対応は考えていなかった。

中止の場合は、北東インカレで全ての選手を決定する予定であった。

鎌倉：システムを作る前に、諸々の対応を事前に北東学連が考えておくようにすれば良いのではないか。

千葉：システムを作りたいという強い希望があるわけではなく、意見を聞きたいという趣旨である。

柴崎：学連が選手を決める方針であるので、学連内で対応すべきであると思う。

徳力：関西では対応を決めてあったはずなので、関西学連幹事長の吉岡君などに確認すると良いと思う。

市川（竣）：まとめとして、日学で決まりをつくるよりも各学連で対応してもらう方向で進める。推薦枠について他に意見があれば欲しい

鎌倉：他の学連が介入すると、当該学連の有力選手が不利になるような意見を出すといった、公平な意見が出ない恐れがある。

以下、各学連のセレ不成立の時の対応について

市川（優）：関東学連では明文化されていないはずである。

加藤：北信越学連では、セレレースを複数設定しておいて、不成立になった場合は他のレースを利用できるようにしている。

一戸：中九四学連では各大学の代表と地区学連の幹事が集まって話し合う。決定権は幹事長が持っているため、これは幹事長自信が当事者になった場合不適切である。

徳力：昨年は候補レースを用意していた。各大学のOB1年目から構成される諮問委員会が困

ったときの相談役として存在している。

遠藤：関東学連の規約を確認したところ、荒天等で中止になった場合、直近のインカレ等の結果を参考に通過者を決定するという事になっている
クラブごとに決める事になっていることなど問題点はある。

柴崎：北信越学連は、それぞれの大学ごとに枠を与え、各大学自身が選手を決める方針である。

舘：東海学連も関西学連と同様に各大学のOBへ諮問委員をお願いしている。規約にも記載があるはずである。

島田：東海学連は各セレごとに対応を考える方針であったが、セレの前に東海学連総会がないため、決められない場合がある

6. 渉外部員追加募集について

市川（竣）：今現在、渉外部には4年生しかおらず、来年度に引き継ぐ幹事がない状態となっている。そのため、追加募集をしたいと考えている。
規約には追加募集の想定がされておらず、総会で承認をとって追加募集をしたい。
年内くらいに入ってもらって仕事を見てもらい、来年度スムーズにというイメージである。

澤橋：ユニバスのSSCに関しては、年内にやり取りが完了するため、引き継ぎは必要ない。

市川（竣）：1人募集をかける方向で承認を取りたい。幹事の任命は総会で行うため、総会で承認が必要。まず幹事会で承認をとる。

賛成過半数のため、この方針で進めていく。

7. 部局報告

詳細は資料参照のこと。

事業部

・後夜祭宿について

市川（竣）：インカレ宿についてはテレインが変わった関係でまだ時間がかかる見込みである。谷野さんと連絡をしながら進めていく。

森：どのように参加者を募るのか。

大石：去年は実行委員会とは連携しておらず、山川さん主導だった。

市川（竣）：今年のインカレは谷野さんに連絡するとよい。

山川：豊田市内の宿探しはかなりの難問のため、まだ日本旅行とこれから鋭意相談が現状である。

普及部

宮川：各地区幹事長の方は資料記載の大学にマナー講習の呼びかけとGoogleフォームの記入をよろしくお願ひしたい。

技術委員会

鎌倉：WUCOの選考方法決定など技術委員会が発表したについて、広報してほしい場合日学に報告が欲しい。谷川さんに依頼する。

北東学連

坂本：ミセレの併設先決めは北東学連内でも話し合う予定はあるのか

千葉：ミセレを依頼している東北大学によるが、その予定である。

8. その他

山川：年末の山リハ（石尊山）に併せて今年も学連合宿開催で良いか。

世話役は技術委員会のはずであるが、去年は谷野氏がやってくれた。しかし谷野氏は今負担が大きい。

市川（竣）：良いと思う。谷川さん、谷野さんに柴崎が連絡しながら企画を進める。

コーチとプランナーをWUCO選手や全日本上位（昨年同様）の方をお願いする宿は誰が斡旋してもよいと思う。技術委員会のslackチャンネルで話を進めていく

市川（竣）：次回幹事会は12月から1月を予定している。1月13日にやってラーン0と合わせるという案もある。

以上